



湧き出でよ人材

創立100周年記念碑より

「挑む」
今月のテーマ

本部町立伊豆味小中学校

No.7
R8.6.30
発行

学校だより

文責 校長 伊波 勉

水泳学習

「もとぶ元気村」の屋内プールを利用した水泳学習を行っています。天候に左右されることなく、子どもたちは安全で快適な環境の中、一人一人の目標に向かって意欲的に学習に取り組んでいます。伊豆味校の水泳学習の大きな特徴は、安全を最優先に考えた手厚い指導体制です。この日は小学生28名に対し、プールサイドで安全確認を行う2名を含め、全9名の教職員で指導にあたっています。これだけの体制を整えられるのは、小学部だけでなく、中学部の先生方も応援に入り、学習を支えてくれているからです。小中併設校である伊豆味校ならではの強みを生かし、教職員全員で子どもたちの安全と成長を支えています。

学習では、学年を基本としながらも、一人一人の泳力や習熟度に応じてグループを編成しています。水に親しむことから始めるグループ、水に顔をつけたり浮いたりすることを目標とするグループ、泳法を身に付けるグループ、さらに長い距離を泳ぐことを目指すグループまで、それぞれの発達段階や技能に合わせたきめ細かな指導を行っています。

水泳は、泳ぐ技術を身に付けるだけでなく、自分の命を守るための大切な学習でもあります。子どもたちが安心して挑戦を重ね、「できた」という達成感を積み重ねられるよう、安全管理を徹底しながら、一人一人の成長を支えていきます。これからも伊豆味校ならではの充実した指導体制を生かし、子どもたちの「挑む心」を育んでいきます。



とても「うれしい報告」がありました。

6月29日（月）の夕刻、本地区の退職校長であるT先生から、一本のお電話をいただきました。お話を伺うと、名護方面から渡久地方面へ車に向かっていく途中、やんばるそば前の横断歩道で、とても心温まる出来事があったとのことでした。

T先生は本部町ご出身で、本部小学校に勤務された経験もある先生です。本部町の子ども、そして伊豆味の子どもへの礼儀正しく清々しい姿に感動し、「ぜひ学校に伝えたい」と思って電話しました」と、お忙しい中わざわざご連絡をくださいました。その際、「伊豆味校では、このようなことまで指導しているのですか」と尋ねられました。学校では、交通ルールやマナーを守って安全に横断することは繰り返し指導していますが、横断後に振り返ってお辞儀をすることについては、「ご家庭で育まれた思いやりや感謝の心が、その子の自然な行動として表れたものだと思います」とお答えしました。

子どもたちは、学校だけで育つものではありません。家庭や地域で大切に育まれた心が、学校生活や地域での何気ない場面に表れます。そして、その姿は周囲の人の心を温かくし、地域全体を明るくしてくれます。今回の出来事は、一人の子どもの素敵な行動であると同時に、伊豆味の子どもたちが地域の皆様に温かく見守られながら成長していることを改めて感じさせてくれる出来事でもありました。

これからも学校では交通安全教育を着実に積み重ねるとともに、ご家庭や地域と手を携えながら、思いやりや感謝の気持ちを自然な行動で表せる子どもたちを育んでいきたいと思ひます。

一つの小さな行動が、見ている人の心を動かし、地域を明るくする力になることを改めて教えていただきました。T先生、心温まるご連絡を本当にありがとうございました。



歩行者信号が青になると、しっかりと手を上げて横断したあと、くるっときびすを返してこちらを振り向き、お辞儀をする女の子に出会いました。